

2002年 月 日

大阪府議会議長 殿

大阪府立高槻南高等学校の廃校を前提とした「大阪府立高等学校等条例  
一部改正」(案)の削除・修正と高槻地域高校再編計画の再検討を求める

## 請 願 署 名

### 請 願 趣 旨

平成13年8月30日に発表された府教育委員会による「府立高校再編整備第1期実施計画、第3年次対象校案」に基づく高槻南高校の実質廃校案公表に対して、同校生徒・PTA・教職員・OB、広範な市民によるその撤回を求める大きな反対運動が繰り広げられ、16万筆の署名が府教育委員会に対して提出されるなど大きな廃校反対運動が、起こったことは今も記憶に新しいところです。同年11月の府教育委員会議では、これらの広範な府民意思を一切無視して、高槻南高校を廃校とする決定を行いました。これに対して、今も廃校反対運動がねばりよく続けられています。

地元市や市民の協力でできた府立高校を「廃校にする」という計画案が、地元市当局や学校関係者に何の協議を行うこともなく公表され、かつ強行されるに至った背景と理由は、府教育委員会から何ら明らかにされていません。

私たちが行った行政不服審査法に基づく「異議申立て」、「公開質問状」や「情報公開請求」に対しても、府教育委員会は自らが行った行政決定についての客観的・合理的事実や資料に基づいた説明や情報開示を行おうとせず、不誠実な態度をとり続けています。高槻地域新校の目的や方向についても、府教委自身の当初の約束・公約が大きくゆがめられています。

このような中でも、高南生は、日々の学習活動や学校行事及び部活動に熱心に取り組み良好な成果をあげています。とりわけ軟式野球部は、本年度、全国大会や国体に出場するなど、廃校決定にもかかわらず高南生らしく頑張っています。このような高校をつぶして、誰のため、何のための高校改革でしょうか。

地元高槻市議会においても、「大阪府は府立高校再編計画について高槻市と話し合うことを求める意見書」(平成14年6月27日)が、本年、改めて決議されております。

以上の趣旨を踏まえ、速やかな実現を願って以下のことを請願します。

#### 請願署名取扱い団体名

高 南 応 援 団

569-1121 高槻市真上町

